

## INDEX

- 無駄なお薬飲んでいませんか?～ポリファーマシーに陥らないために～ ..... 1
- リハビリテーション科～最新機器のご紹介PART2～ ..... 3
- 病院からのお知らせ ..... 4

Webサイトでも  
閲覧できます



## 無駄なお薬飲んでいませんか?～ポリファーマシーに陥らないために～

定期的に病院にかかっている方へ、「毎日、どのくらいのお薬を飲んでますか?」とお尋ねすると、様々なお返事をいただきます。

服用しているのは「一つだけ」という方もいれば、「数種類」という方もいらっしゃいます。中には「片手では数え切れない種類と数を飲んでいて、もう何が何の薬だかわからなくなっちゃうよ」と笑って答える方も少なくありません。

このような数種類の薬を飲んでいる、特に6種類以上服用している方は「ポリファーマシー」に陥る可能性があります。

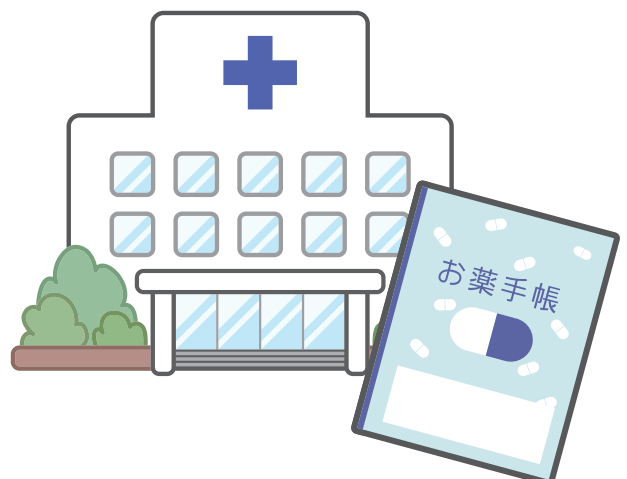


## ポリファーマシーとは

「ポリファーマシー」とは、「多くの薬剤の併用によっておこる有害事象」です。「多剤併用」「多剤服用」と勘違いをされることも多いのですが、これらは治療のため複数の薬を服用することを指します。適切な管理のもとなので、ポリファーマシーには当たりません。

ポリファーマシーとなるきっかけは、医師や薬剤師、本人も気づかないうちの「いつの間にか多剤服用」です。適切な管理がなければ飲み間違いや副作用が起こるかもしれないからです。

そのために有効なのは「お薬手帳」と「かかりつけ薬局」です。



## 「いつの間にか多剤服用」のパターン

まず、気がつかずに「いつの間にか多剤服用」となるパターンを見てみましょう。これには大きく二つあります。



### パターン1

#### 薬の副作用に対して更に薬が処方されてしまう場合

例えば、関節の痛みのために痛み止めを飲み始めました。すると、痛み止めにより胃痛が起きました。そのため、胃の痛みを抑える胃薬が処方されます。すると今度は胃薬で肝障害がでてしまいました。そこで次に肝臓の薬が処方されます。このような連鎖で多くの薬の飲むことになってしまいます。

### パターン2

#### 複数の医療機関受診で、気づかぬうちに同じ薬が出てしまう場合

例えば、内科で胃薬を治療で服用している方が、関節の痛みで整形外科を受診します。そして、痛み止めと一緒に副作用を抑える胃薬がセットで処方されます。こうして、ご本人が気がつかない間に胃の薬が2種類も出てしまっています。

## カギは「お薬手帳」と「かかりつけ薬局」

このようなパターンを避け、処方薬を適切に管理にするのが「お薬手帳」と「かかりつけ薬局」です。

お薬手帳は、複数の医療機関で処方された薬をまとめて管理できるので、これを見た医師や薬剤師が薬の重複に気づいてくれます。

かかりつけ薬局へ、受診しているすべての病院の処方箋をもっていけば、まとめて管理することができます。重複している薬があれば、薬剤師が医師に確認してくれます。

もし、薬が多くて不安を感じる人は、医師もしくは薬剤師にお尋ねください。お薬が多いからといって自己判断で中止してしまうのは、非常に危険なことです。まずは専門家に相談することがポリファーマシーを防ぐ一番の近道なのです。



みつわ台総合病院 薬剤科

# リハビリエッセンス

## ～日常にリハビリを～



リハビリテーション科  
～最新機器のご紹介PART2～

前回、リハビリテーション科で導入した最新機器 2 つを紹介させて頂きました。  
今回は、残りの 2 つを紹介致します。

### ●免荷式トレッドミル（モリト株式会社：SP-1000）

トレッドミルとは、定位置で長い距離の歩行練習をする機器です。可動式の特殊なベルトのついた機器の上を歩きます。速度の変化で、運動負荷をコントロールします。

今回導入したトレッドミルは「免荷式」です。免荷とは「負傷箇所に体重がかからないようにする」ことです。この機械では、専用のハーネスで安全に身体を吊り上げた状態にすることで、患者さんの体重負荷を軽減した歩行練習ができます。このリハビリは、脳卒中後遺症や脊椎・脊髄損傷など、特に脚に麻痺が残っている患者さんに有効です。

これまで重度の運動麻痺が残存している患者さんの歩行訓練は「長下肢装具」という太腿から脛までを固定する装具を使用し、療法士が後ろから患者さんを支え、脚の振り出しを介助することで行っていました。しかし、この方法では、療法士の介助技術だけでなく、患者さんの負担も大きく、長い距離の訓練は難しいのが現実でした。免荷式トレッドミルを使用する事で、安全な状態で長い距離の歩行練習が可能になりました。



(免荷式トレッドミル)

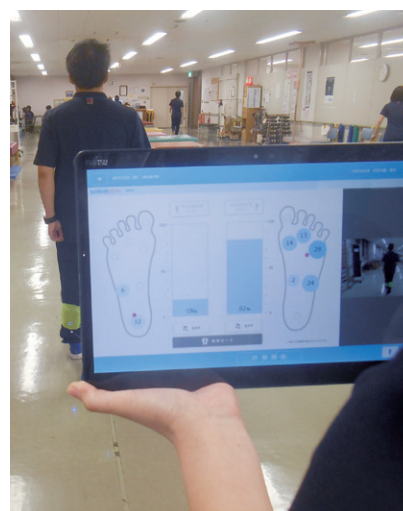
### ●足底圧センサー（パラマウントベッド株式会社：Waltwin ワルツイン）

足底圧とは、立っている時や歩いている時に、足底（足の裏）にかかる圧のことです。この足底圧センサーは、足底圧を可視化、データ化することができる機器です。理学療法や作業療法の場面では、患者さんに歩行をしてもらい、その動きのデータにすることで、どの関節に障害があるのか、どの筋力が不足しているかなどの予測を立てます（動作観察・動作分析）。

動作観察や動作分析には、これまでは、ある程度の臨床経験をもった「療法士の目」だけが頼りでした。しかし、足底圧センサーを使用することで、より客観的な情報を得られるようになりました。

この機器では経時的な足底圧の変化がタブレットに表示されるため、それを見ながら療法士間での治療方法の検討や、患者さんとの現状を共有ができます。また、自動的にデータをまとめる機能もあり、臨床研究などにも応用することができます。

ちなみにこの機器は、当院が千葉県初導入です！



(足底圧センサー)

金光寺 康幸（リハビリテーション科 科長 理学療法士）

## 面会禁止のお願い

「新型コロナウイルス」感染流行を受け、**全面的に面会を禁止**させていただきます。  
皆様のご理解・ご協力をお願い致します。

◆入院患者さんのご家族も対象となります

◆病院からの依頼（病状説明・手術・入退院など）があった方のみ、面会が可能となります

○患者さんに着替え等のお届け物がある方は、下記の時間のみ、総合受付窓口にてお預かりいたします  
（月～金（祝・祭日を除く）15：00～17：00）

貴重品及び、感染予防の為、寝具・布類はお預かり出来ない場合があります。ご了承ください

## 新型コロナウイルス感染症について 受診・相談希望の方へ

以下のいずれかの事項に該当する方は、下記連絡先へ電話で相談し指示を受けていただきますようお願いいたします。

☆息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱等の強い症状のいずれかがある場合

☆重症化しやすい方<sup>(※)</sup>で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合

(※) 高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患（COPD等）等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方

☆上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ずご相談ください。症状には個人差がありますので、強い症状と思う場合にはすぐに相談してください。解熱剤などを飲み続けなければならない方も同様です。）

厚生労働省新型コロナウイルス対策ホームページ引用

<b>千葉県帰国者・接触者相談センター</b> 043-238-9966 (AM9時～PM5時まで) 土・日・祝日含む	<b>千葉県相談窓口</b> 0570-200-613 (24時間) 土・日・祝日含む	<b>厚生労働省相談窓口</b> 0120-565653 (フリーダイヤル) (AM9時～PM9時)
--	--	---

【健康管理センターからのお知らせ】

## 新型コロナウイルス感染拡大防止のため ご協力のお願い

当センターでは新型コロナウイルス感染対策として、受診者の皆様以下のご協力をお願いしております。

○ご予約の人数制限

○受診当日に以下のいずれかに該当する場合、日程のご変更

- ・発熱（平熱より高い体温又は37.5℃以上）、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁、鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、嘔気、嘔吐、味覚障害、嗅覚障害などの症状のある方
- ・受診日の2週間以内に発熱（平熱より高い体温又は37.5℃以上）があった方
- ・明らかな誘因なく4、5日続く下痢等のある方
- ・2週間以内に新型コロナウイルスの患者やその疑いがある患者（同居者・職場内の発熱含む）との接触歴がある方
- ・2週間以内に外国への渡航歴がある方（およびそれらの方と家庭や職場内等で接触歴がある方）
- ・新型コロナウイルスの患者に濃厚接触の可能性があり、待機期間内（自主待機も含む）の方
- ・新型コロナウイルスに感染し、退院や療養生活を終了してから4週間未満の方

○マスクのご持参とご着用

○受付時、すべての方へ体温測定の実施

○適宜消毒のご協力（入館時・健診中・退館時）

入り口等に消毒液を用意しております。アルコールを使えない方へは界面活性剤配合のハンドソープ等による手洗いをお願いしております。

○肺機能検査の中止

人間ドックの実施項目中の「肺機能検査」の実施は、フィルター付きマウスピースを使用し行います。しかしながら、大きな呼吸の繰り返しと勢いよく息を出すことで測定を行うため、新型コロナウイルスのエアロゾル感染の可能性を完全に否定することはできません。

当センターでは新型コロナウイルス感染対策に、細心の注意を払っておりますが、受診者様に安全に健康診断を受けていただくために、当面の間、肺機能検査を中止いたします。

何卒ご理解とご協力のほど、お願い申し上げます

健康管理センター長

## 来院時のお願い

～手指消毒と検温にご協力ください～

西館入口自動ドア前に、カメラによる自動検温機と自動噴霧アルコール消毒機を設置いたしました。ご来院の際には検温と手指消毒のご協力をお願いいたします。

感染対策へご協力お願いいたします  
みつわ台総合病院感染対策委員会

上記内容は、今後変更になることがございます。

適宜、HP・院内掲示にてお知らせいたしますが、ご不明の際はお問い合わせください。



医療法人社団 創進会  
みつわ台総合病院

### 基本理念

高い徳性と深い知性を培い  
生命の尊厳に寄与する

### 基本方針

1. 医療を通じて地域社会に貢献します
2. 個人の尊厳を尊重した医療を実施します
3. 常に最先かつ最適な医療を提供します

受付時間	午前 8:30より12:00まで
	皮膚科(木曜) ..... 8:30より11:00まで
	脳神経外科(土曜) ..... 8:30より11:00まで
	耳鼻咽喉科(土曜) ..... 8:30より11:30まで
	午後 13:30より16:30まで
	糖尿外来(水曜・木曜) ..... 13:30より14:30まで
皮膚科(木曜) ..... 13:30より16:00まで	
脳神経外科(月曜・水曜・木曜) ..... 15:30より16:30まで	

2科以上  
受診の場合は  
受付終了  
30分前  
まで

千葉県若葉区若松町531-486  
☎043-251-3030 (代)  
ホームページアドレス  
<http://www.mitsuwadaibyoin.or.jp>



スマートフォンの方はこちら

みつわ台病院  
ニュースでは、  
UDフォントを  
採用しています

ユニバーサルデザイン(UD)の  
考えに基づいた見やすいデザ  
インの文字を採用しています。



人間ドック健診施設  
機能評価認定病院

日本医療機能評価機構  
認定第JC115号  
日本医療機能評価  
機構認定病院